

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1205 里山保全の理論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	隔週偶数
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	土曜3限、土曜4限				
教室	C101教室				
代表教員	岩本 陽児				
担当教員	岩本 陽児				
テーマと到達目標	<p>里山とは何か。里山はいかに形成され、人々の生活にとってどのような役割を果たしてきたのか。こんにち里山を保全する意義とは。これらの諸課題について、植物生態学の基礎、ひとびとの生活様式の変遷、エネルギー革命、里山独自の生態系など基本的な知識事項を踏まえつつ理解を深めます。現代的な里山保全の意味について諸君が自分なりの意見を持てることを到達目標とします。</p>				
概要	<p>隔週開講、2コマ続きの授業です。教室での学習をベースとして、キャンパス内の里山「岡上和光山」での日常的な自然観察と手入れのほか、フィールド見学や地域の里山NPOとの交流活動を随時行います。最初の授業日に学習計画づくりの相談をしましょう。自然の運行は一年を通じて行われるため、この授業を受講した学生は、引き続き後期授業「里山保全の実際」を履修してください。</p> <p>重要：本授業を履修していないと後期「里山保全の実際」は履修できません。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	顔合わせとオリエンテーション				対面授業
第2回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第3回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第4回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第5回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第6回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第7回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第8回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第9回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第10回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第11回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第12回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第13回	座学と里山フィールドワーク				対面授業
第14回	今期授業の振り返りと後期の学習計画の相談				対面授業
第15回	今期授業の振り返りと後期の学習計画の相談				対面授業
成績評価の基準	<p>授業に遅刻・欠席しない。自ら学習目標を立てて、達成する。学期末に、学習事項をまとめ、適切に注を付けた6000字程度のレポートを提出する。図書館の「レポートの書き方」動画を必ず参照すること。読んで楽しく書くとポイントが高い。</p> <p>なお、レポートの一部を2026年2月末に川崎市立麻生市民館で開催の「里山フォーラムin麻生」の展示に使用することがある。出席6割以上を要件とし、欠席の多い者には救済の補充課題を与える。</p>				
履修にあたっての留意事項	<p>この科目は和光大学の独自資格「流域環境士」を得るための「地域・流域プログラム」のコア科目です。学期第一週の授業を欠席した場合は、第二週のうちに諸君の大学Gmailアカウントから必ずiwamoto@wako.ac.jpに連絡すること（授業名を件名とする）。不明な点は必ず相談するように。なお、ポータルは使いません。授業の諸連絡はメイリングリスト（ML）sy@wako.ac.jpで配信します。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	フィールド巡検など、学外授業の交通費等は自己負担となります。過年度には明治神宮外苑を巡検しました。		
教科書	植物図鑑が各種、出版されているので、自分に合った植物図鑑を用意すること。なお、初心者は薄めの図鑑から始めることを勧める。日ごろから眺めて、こういう感じの植物はどのあたりのページに載っていると知っておくことが重要。	教科書(ISBN)	
参考文献	各自が入手した植物図鑑は、授業時にフィールドで使う。ほかは、授業中に指示する。 本学図書館で利用できる電子植物図鑑が3冊ある。牧野図鑑は日本の植物図鑑の最高峰だが、オンライン版の検索機能が活用出来るまでには、それなりの基礎が必要。日ごろから時間を作って通読しておくとい。	参考文献(ISBN)	